

「外交官の日」を記念したテレビ・インタビュー

親愛なるベルディムハメドフ大統領、ベルディムハメドフ国家指導者、そして、メレドフ副首相率いるトルクメニスタン外務省の皆様、

日本国を代表して、トルクメニスタンにおける「外交官の日」を心よりお祝い申し上げます。

トルクメニスタンが中立政策のもと、国の安定、平和、そして発展のための努力を続けていることに対し、深い敬意を表明します。

トルクメニスタンの日本語学習者の数は、2015年の約50人から、現在では約1万3千人以上に増加しています。日本語話者の増加は、これからの二国間関係発展の土台ともいうべきものです。また、日本はトルクメニスタンの外交官や公務員を対象とした研修を実施しており、まさに今週も若手外交官が東京でのプログラムに参加しています。

昨年は、二国間の要人往来も活発に行われました。日本からは、6月のアルカダグ市オープニング式典に日本・トルクメニスタン友好議員連盟メンバー及びデジタル副大臣が出席し、7月には外務政務官が当地を訪問しました。

トルクメニスタンからは、12月に経済ミッションが訪日し、両国間の経済協力について実りある議論が行われ、世界で唯一天然ガスからガソリンを精製することができる、ガス・ツー・ガソリン(GTG)プラントの包括メンテナンス契約が署名されました。日本企業のトルクメニスタンにおける活動も、昨年来活発になってきています。

本年1月には、メレドフ副首相兼外相が訪日し、林官房長官、上川外務大臣、齋藤経済産業大臣らと会談しました。上川外務大臣との会談では、「2024年－2026年における日・トルクメニスタン外務省間協力プログラム」の署名・交換も行われました。また、齋藤経済産業大臣との会談では、経済・エネルギー分野における二国間協力について意見交換し、エネルギートランジションに関する政府間協力覚書も締結されました。

本年は、「中央アジア＋日本」対話・首脳会合の開催が予定されています。同対話の設立から20年の節目に首脳会合を開催することにより、トルクメニスタンを初めとする中央アジア諸国と日本の協力関係が新たな段階に達することを期待しています。私としても、トルクメニスタン政府と協力しながら、首脳会合及び同時に行われる二国間首脳会談の成功に向けて全力で取り組む所存です。

最後に、皆様とトルクメニスタン国民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

Size jan saglyk we bagt arzuw edýärin.

スイゼ・ジャン・サグルイック・ウェ・バグト・アルズウ・エディヤリン

(皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。)

駐トルクメニスタン日本国特命全権大使

佐々木 浩